

平成27年度 第1回  
キャリアパス講演会&相談会

要旨集

日時：平成27年7月27日(月) 15:00～

場所：講演会 理学部講義棟4番教室

相談会 理学部2号館第一会議室

# キャリアパス講演会&相談会

理学部 基礎化学科  
理工学研究科 基礎化学コース

日時：平成 27 年 7 月 27 日(月) 15:00～

場所：講演会 理学部講義棟 4 番教室、相談会 理学部 2 号館第一会議室

【講演会】 15:00～17:00

(1) 玉田 翔平 氏 (2010 年修士修了、長谷川研)  
株式会社 島津製作所 勤務  
「理系院卒が営業パーソンになるまで」

(2) 野町 亜弓 氏 (1998 年学部卒業、檜崎研)  
アジレント・テクノロジー株式会社 勤務  
「化学の知識を生かした営業職という選択」

【懇談会】 17:00～19:00

# 理系院卒が営業パーソンになるまで

玉田 翔平

## 要旨

就職活動は、自分自身の人生プランと真剣に向き合うことが出来る絶好の機会です。私は幼いころに化学者になることを夢に持ちました。その後、漠然と将来を見据えて小中高、そして埼玉大学理学部化学コース(長谷川研究室)に入り、修士課程へと進みました。修士課程年の夏ごろにリーマンブラザーズが破綻したことをきっかけに、就職活動を開始しましたが、活動を始めていくと、「本当に研究職で良いのか?」、「自分はどんな人生にしたいか?」、「自分の強みを活かしていける職業は何か?」などと悩みました。結果として、営業職を選択し、現在はその選択に狂いはなかったと感じながら、日々充実して過ごしております。

本講演では、私が学生時代にどのような就職活動を行ったかと現在の業務内容を主にお話しさせていただきます。修士卒で営業職に就こうと考える方は決して多くないとは思いますが、一例として皆様のキャリアパス形成のご参考として頂ければ幸いです。

# 化学の知識を生かした営業職という選択

野町 亜弓

## 要旨

私が大学生の時、地下鉄サリン事件がおき、普段聞くことの無い化学物質の名前がメディアで頻繁に聞かれるようになりました。また、その物質を特定するために警察や消防がどのようにアプローチを行っているかわかるにつけ、化学科で学んだことが社会に目に見えて生かせるのは分析化学の分野では？と思うようになりました。4年次に分析科学研究室に入り、将来は絶対分析装置を扱う職につき、分析者であることを望んでいたのですが・・・。

現在私は、機器メーカーの製品営業部に所属し、グループリーダーを任されています。営業だけは嫌だ！と思っていた私が、機器メーカーの技術営業になり、営業で良かったと思えるようになったその道のりをお話したいと思います。おそらく皆さんのほとんどの方は研究者や技術職を希望されていると思いますが、一つの選択肢として大学で学んだ化学の知識を生かした【営業】という職について聞いていただき、今後の進路を決める時の参考にしていただければと思います。